

シリーズ「アートと社会包摂」公開研究会

アートエリアB1 / ラボカフェ企画
九州大学ソーシャルアートラボ

九州大学ソーシャルアートラボ
トークイベント in 大阪

アートと社会包摂

ソーシャルアートってどんなもの？

「九州のアートプロジェクト」というと、みなさんほどのようなイメージを持たれるでしょうか？ それは大阪や東京とは違うのでしょうか？ それとも、場所が違っても共通する課題があるのでしょうか？ 地域に根ざしたアートプロジェクトや社会包摂を目指したアート活動には、「アートの道具化だ」という批判もあります。

今回のラボカフェでは、共著『ソーシャルアートラボー地域と社会をひらく』（2018年、水曜社）を手がかりに、九州大学ソーシャルアートラボで活動をしている著者2人を交えて、アートと社会の関係についての疑問や感想、なんともいえない思いを言葉にして発することを試みます。

2019
2 / 3 [日]

14時〜17時（15分前に受付開始）

アートエリアB1

大阪市北区中之島1-1-1 京阪電車なにわ橋駅地下1階

中西美穂
大阪アートカウンシル統括責任者

ほんまなほ

カフェマスター / 大阪大学COデザインセンター教員

中村美亜

九州大学大学院芸術工学研究院准教授

ソーシャルアートラボ副ラボ長

長津結一郎

九州大学大学院芸術工学研究院助教

ソーシャルアートラボ構成教員

アートと社会包摂

ソーシャルアートってどんなもの？



中西美穂

大阪アーツカウンシル統括責任者

大阪生まれ大阪育ち。京都精華大学美術学部卒。関西を拠点に様々なアートプロジェクトに関わる。国際交流基金知的フェロシップ派遣、文化庁新進芸術家海外研修制度特別派遣にてフィリピンの社会包摂型芸術事業のフィールドリサーチを行う。大阪大学大学院文学研究科文化形態論博士後期課程在籍中。2018年4月より現職。



ほんまなほ

大阪大学COデザインセンター教員

大阪大学COデザインセンターにおいて、ひととひとがつながるための新しい大学・大学院教育プログラム創成に従事し、臨床哲学を軸に、哲学プラクティス、対話、こどもの哲学、身体・音楽表現などの教育研究を行う。著書『ドキュメント臨床哲学』、『哲学カフェのつくりかた』『こどものつがく』(共編著)ほか、『アートミーツケア叢書』を監修。



中村美亜

九州大学大学院芸術工学研究院准教授
ソーシャルアートラボ副ラボ長

芸術活動によるエンパワメントや社会変容の仕組みを探る研究、その知見をいかした文化政策の提案を行っている。ジェンダー/セクシュアリティに関する著作も多い。共編著に『ソーシャルアートラボ』(2018)、単著に『音楽をひらく』(2013)、『クィア・セクソロジー』(2008)、『心に性別はあるのか?』(2005)など。共創学会理事、アートミーツケア学会理事。



長津結一郎

九州大学大学院芸術工学研究院助教
ソーシャルアートラボ構成教員

異なる立場や背景をもつ人々の協働と、そこにある芸術文化の役割について、研究/実践の双方からアプローチを試みる。文化庁や厚生労働省における障害のある人の表現活動に関する施策にも関わる。専門はアートマネジメント、芸術社会学。博士(学術・東京藝術大学)。著書に『舞台の上の障害者：境界から生まれる表現』(九州大学出版会、2018年)。



ソーシャルアートラボ： 地域と社会をひらく

九州大学ソーシャルアートラボ(編)
発行=水曜社
出版年=2018年
定価 本体2,500円+税

アートプロジェクトやソーシャリー・エンゲイジド・アートという言葉が広まり、こうした活動が全国的に活況を呈している。しかし、アートが社会に役立つとはどういうことなのだろうか。アートが「アートのため」でも、「道具」でもないとしたら、どのように存在できるのだろうか。

本書は「ソーシャルアートラボ」(=社会とアートの関わりをとらえなおす実験の場)に関わる研究者、アーティスト、実践家たちが、自らの試行錯誤や実践をメタ的な視点から語り、上記のような問いに対し、新たな知見を生み出すことを目指した論考・エッセイ・インタビュー集である。

アートの現場で迷いを抱えているアーティスト、アートマネジャー、行政・NPO職員、ボランティアなどに向けて書かれた、社会におけるアートのあり方を再考する1冊。



〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-1
京阪電車なにわ橋駅 地下1階

TEL: 06-6226-4006 (12:00-19:00/月曜休館)
直通的エレベーターはございませんので、車いすでお越しの場合はあらかじめアートエリアB1までご連絡をお願い致します。

九州大学ソーシャルアートラボ

九州大学ソーシャルアートラボは、社会の課題にコミットし、人間どうしの新しいつながりを生み出す芸術実践を「ソーシャルアート」と捉え、新しい生の価値を提示していくことを目的としています。平成30年からは、シリーズ《アートと社会包摂》をテーマに研究・教育・実践・提言の多方面から取り組んでいます。

ウェブサイト: <http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/>

お問い合わせ

九州大学ソーシャルアートラボ
TEL&FAX: 092-553-4552

E-mail: sal-cul@design.kyushu-u.ac.jp
<http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp>

ソーシャルアートラボ で 検索

関連企画

九州大学ソーシャルアートラボ
シリーズ「アートと社会包摂」公開研究会

座談会「表現、記憶、コミュニティ」
『ソーシャルアートラボ』『想起の音楽』をめぐる

2019年3月17日[日] 14:00-17:00 開場13:30

定員= 20名

会場= 小金井アートスポット シャトー 2F
(東京都小金井市本町6丁目5-3)

※詳細は追って九州大学ソーシャルアートラボのウェブサイトで公開します。